Hunt のコンテスト向けの絵画制作　　202301

The Hunt Institute for Botanical Documentation は 60 周年を記念して 2024 年秋に開催される第 17 回 International Exhibition of Botanical Art & Illustration　への応募を受け付けています。

（詳細は、https://www.huntbotanical.org/exhibitions/international/）　　作品集は https://bit.ly/3IumWEs

1．資格要件

①この展覧会は**卓越性の基準を達成した作品**であり、この Exhibition に未入選の画家に解放されています。
②作品は 2023 年 10 月 6 日から 2025 年 2 月 7 日まで Hunt Institute で利用可能なことが条件です。
③制作中の作品、および第三者または個人コレクションが保持している作品は対象外です。
④この Exhibition に以前参加した画家からの推薦を歓迎するが推薦は提出の要件ではありません。

2．提出の段階

①提出意向(2023 年 2 月 2 日まで受付)　②画像の提出(2023 年 6 月 15 日まで受付)
③原画の請求(2023 年 8 月 10 日まで)　④原画の受領(2023 年 10 月 6 日までに受領)
⑤原画の受領確認返事(2023 年 10 月 20 日まで)　⑥経歴情報と肖像写真のリクエスト(2023 年 12 月 8 日締切

2．卓越性の基準を達成した作品とは

①構図（フォルム、配色）

・**空間的混乱を避ける【More Clarity】：複雑にしない、明瞭さを高める。**：　**スライド画像の例で説明します**
・色と構図が美しい動きを作っている。優美な流れがあること。
・生き生きした存在感、納得のいくフォルム、いい形をしている。
・深みを持っている。
・細部へのこだわりがある。
・葉、茎および根の優美な構成と興味深い相互作用を有する。

・画像の群が増える程、複雑さが増し明瞭さが低下。不要な要素を減らす。
・明瞭さの向上には、乱雑さを減らす
　・筆先の着地でクッキリさを出す。
　・Back Painting で前を浮き立たせる
　　・彩色する順番を意識化に置く。
・余白や空白の量を増やす。
・すっきりした決定線。

②主題：何を描くのかを慎重に選ぶ。
・興味深い主題、植物の生態に説得力がある。

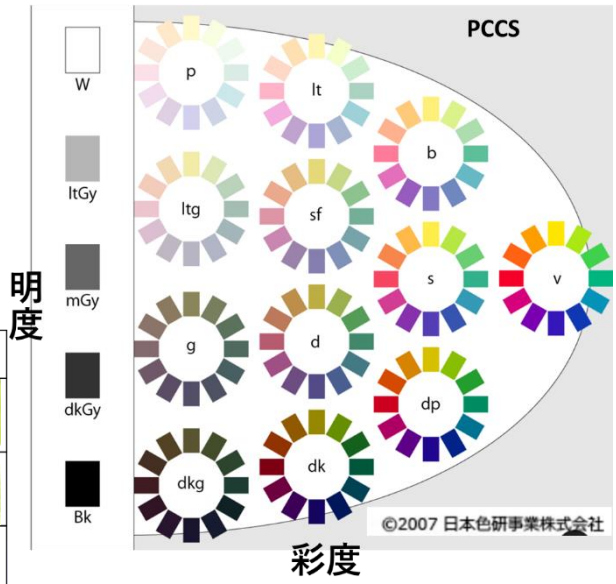
③立体感【More Dimensional】

・**平坦さ（Flatness）を無くする：細部も全体もフラット彩色を撲滅。**
　・一つの葉や花単体でも前部と後部の違いを出す。
　・陰を活用する。正確な陰の位置･形を見定める。
　・どの要素にも必ずハイライトと陰を付与する。
　・視線誘導のためのコントラスト活用。
　・色価の調整を意識下に置く。

④カラーバリエーション【More Pallets】

・**限られた色だけで彩色しないこと：トーン（明暗＆彩度、色価）をコントロールして立体感を出すこと。**
・Green の More Pallets：
#12 だけで終わらせないように。
インディゴ、シャドーグリーン、#8、#9 などは緑を作るためのも存在。
茶系、赤系、紫系も緑を調色。

	#21	#22
Indigo		
Payne's gray		
#8		
#9		



・最初から混色し過ぎない方が高彩度を活用しやすい。混ぜるほど彩度が落ち、画面全体のトーン幅が狭まる。

⑤細密さ、質感【More Detail】

・細部および重なり部へのより多くの注意を払う。
・水彩画の技術へのより多くの注意を払うことが成果につながる。
・ディテールへの意識の欠如が問題。
　・重要な細部を拡大観察する。1 本の連続した細い決定線で観察した細部を描く。
　・表面の質感画像を保存しておく。
・花の内部のインテリアのディテールもごまかさずに大切に描くこと。
・各部の表面の質感が明白であり素晴らしいこと。代表的な葉や花だけでもよい。
・開いた花、芽および塊茎のさまざまな表面がきれいに描写されていること。　　以上